

(様式第1号)

新規調査研究計画書(全体計画)

調査研究課題	鶏卵中残留動物用医薬品の簡易前処理法及び分析法の検討
計画期間	平成18年度～19年度2年間
背景 必要性	<p>当所で実施している鶏卵中動物用医薬品分析は、通知法に準拠した一斉分析法により現在実施している。本法は多項目を一度に抽出し分析できる反面、操作が多く煩雑であり夾雑物の影響のため、2重、3重の測定になってしまうことが頻繁にあるのが現状である。このため、抽出法の簡素化と夾雑物の存在下でもその影響を少なくする測定法の検討は、迅速化、省力化、低コスト化のためには有効である。</p> <p>夾雑物の存在下でもその影響を少なくする測定法については、大浦らによる“微分スペクトルクロマトグラム法を用いたHPLCによる柑橘類中イマザリルの分析”および葛原による“微分スペクトル解析法を用いた畜肉及びハム中の残留動物医薬品及び飼料添加物の多成分一斉スクリーニング検査法の検討”がある。しかし、対象試料に鶏卵を用いた検討および微分スペクトルクロマトグラムを用いて動物用医薬品を検討した報告はない。</p>
目的	本研究では当所において行政検査依頼の多い鶏卵について、抽出法の簡素化と微分スペクトルクロマトグラムを用いた測定法を併せて検討することにより2重、3重の分析を減らし、分析の迅速化、省力化、低コスト化を図ることを目的とする。
計画内容	<p>以下の手順で検討を進める。</p> <ol style="list-style-type: none">1 前処理法の検討2 微分スペクトル解析による鶏卵中微分クロマトグラム用微分次数、微分波長の検討3 微分スペクトルクロマトグラムの作成ソフトの検討4 多試料測定による検証
研究目標 (達成しようとする成果及びその活用方法)	業務の迅速化、省力化及び低コスト化。

実施上の 課題及び 対応	
備考	

(様式第2号)

平成18年度調査研究計画書(年度別計画)

調査研究 課題	鶏卵中残留動物用医薬品の簡易前処理法及び分析法の検討
目的	当所において行政検査依頼の多い鶏卵について、抽出法の簡素化と微分スペクトルクロマトグラムを用いた測定法を併せて検討することにより2重、3重の分析を減らし、分析の迅速化、省力化、低コスト化を図ることを目的とする。
調査研究 内容	<ol style="list-style-type: none"> 1 前処理法の検討 2 微分スペクトル解析による鶏卵中微分クロマトグラム用微分次数、微分波長の検討
備考	